

たんご せつく かしわもち  
端午の節句に、なぜ柏餅？

ごがつ いつか ひ  
5月5日は「こどもの日（端午の節句）」  
で、この日のお菓子は「柏餅」です。

「節句」とは、季節の変わり目の意  
味で、昔から色々な季節行事がありました。



柏餅

え ど じだい  
江戸時代になり、  
いちがつ なのか じんじつ さんがつ みっか じょうし  
1月7日の「人日」、3月3日の「上巳」、  
ごがつ いつか しちがつ なのか たなばた  
5月5日の「端午」、7月7日の「七夕」、  
くがつ なのか ちょうよう いつ えら しゅくじつ  
9月9日の「重陽」の五つを選び祝日に



柏の木

しました。そして端午  
は、武士の社会で家を  
継ぐために大切にされ  
た、男の子の成長を祝  
う日になったのです。

ふつう は ふゆ  
普通、葉っぱは冬に

なると茶色になり、枯れて落ちてしま  
います。しかし「柏」の葉っぱは不思議  
なことに、枯れても落ちません。そし  
て、春になり、新しい葉っぱが芽吹く  
まで、柏の木を守るように枝に付いて  
います。

このような様子が、男の子の成長を  
祝い、代々家を継ぐためのお祝いでも  
あった「端午」にふさわしいと思われ、  
この日のお祝いのお菓子になりました。

もともと「柏」は「炊葉」の意味で、  
お皿のない時代には、食べ物の盛りつ  
けに使われた葉っぱという意味です。

## 百花園探検カード No005

制作 百花園サポート士隊

墨田区東向島 3-18-3 向島百花園内

協力 龍昇亭 西むら

墨田区東向島 3-33-3 地藏坂通り

(3614)3999

後援 墨田区教育委員会